

第3章（基準1）

（建学の精神・大学の基本理念及び使命・目的）

1-1. 建学の精神・大学の基本理念が学内外に示されていること。

《1-1の視点》

1-1-① 建学の精神・大学の基本理念が学内外に示されているか。

（1）1-1の事実の説明（現状）

建学の精神・大学の基本理念は以下の通り、学内外に公表されている。

- ① 本学のホームページ、学内広報誌「R a p p o r t」、大学案内、募集要項、入学式、卒業式、学生、教員ハンドブック等で積極的に公表を行っている。
- ② 平成21（2009）年度は大学の創設20周年の節目の年にあたり、基本理念である国際性・学際性・実際性を積極的に、新聞広告、記念シンポジウム等でも発表を行った。
- ③ 本学のホームページにて、記念シンポジウムの動画配信を行った。

（2）1-1の自己評価

- ① 20周年シンポジウムにて建学以来の歴史と変わらざる精神と基本理念を、歴代学長の対談などを通して多くの学内外の参加者に直接伝えることができ、また、外部の評価も高かった。
- ② 本学のホームページのデザイン変更により、（平成21（2009）年6月にホームページ一新を行った）アクセス数が増加するとともに、外部に対して基本理念が、より明確に伝わるようになった。

（3）1-1の改善・向上方策（将来計画）

- ① 実学志向の特色を広報するために、本学の教員による現代の志塾講座をマスコミ等に対しても行っていく。
- ② 本学のホームページの内容の充実を図るとともに、学内に掲示等も行っていく。

1-2. 大学の使命・目的が明確に定められ、かつ学内外に周知されていること。

《1-2の視点》

1-2-① 建学の精神・大学の基本理念を踏まえた、大学の使命・目的が明確に定められているか。

1-2-② 大学の使命・目的が学生及び教職員に周知されているか。

1-2-③ 大学の使命・目的が学外に公表されているか。

(1) 1-2の事実の説明（現状）

本学の使命・目的については、第1章で述べたとおり「学則第1条及び第3条」に定められている。また、大学の入学案内の中で、教育目的を以下のように明記している。

※「入学案内2010」より抜粋

【経営情報学部】

「現代の社会が求めている経営と情報を融合した知識・技術を基に国際コミュニケーション能力を発揮してビジネス社会の最前線で問題解決にあたる人材を育てることを目的とする。」

【グローバルスタディーズ学部】

「ボーダーレス化が進む地球社会のさまざまな課題に取り組むグローバルな舞台で活躍する人材を育成することを目的とする。」

【学内に対する周知】

- ① 印刷物として全学生に配布する「学生生活ハンドブック・シラバス」に建学の精神及び基本理念を掲載し、本学の目的を謳った学則を添付している。
- ② 本学のホームページに、「多摩大学建学の理念」をつねに掲載し、学生、教職員に周知させている。
- ③ 新任教員（常勤・非常勤）に対するガイダンス時に、学部長より、建学の精神・大学の基本理念についても説明を行っている。その際、教員に手渡す「非常勤講師（客員教授）の手引き及び専任教員の手引き」にも建学の精神・基本理念を掲載している。
- ④ 理事長、学長による毎年の入学式式辞で本学の3つ（国際性、学際性、実際性）のキーワードの説明を行っている。同日に開催される新入生の保護者懇談会の場でも各学部長が大学の基本理念に触れている。
- ⑤ 新入生オリエンテーションで学部長より大学の使命・目的を周知している。
- ⑥ 新任職員（常勤・非常勤）に対して、採用面接時及び着任時に事務局長が建学の精神・大学の基本理念を説明している。

【学外に対する公表】

- ① 本学のホームページに、「多摩大学建学の理念」を掲載している。
- ② 大学及び大学院の入学案内、募集要項に、建学の精神・大学の基本理念を掲載している。
- ③ 本学の広報誌「R a p p o r t」に、年1度、建学の精神・基本理念を掲載し、周知を図っている。

- ④ 平成21（2009）年6月に、創立20周年事業の一環としてシンポジウムを開催し2,000名を超える参加者を得て、歴代の学長対談を行い、本学の理念などを広く一般に周知した。
- ⑤ 新聞広告、車内広告、看板、スクールバスへのラッピングや、「志」作文コンテストを開催し（対象高校生など）広く社会に、本学の理念を周知した。
- ⑥ 平成21（2009）年度からは、従来の『現代の私塾』を『現代の志塾』と変更し、志を重視した教育を行ない、入学案内のタイトルを「志を学ぶ、現代の志塾」とすると共に、本学のホームページに公表した。

（2）1－2の自己評価

- ① 平成21（2009）年4月、新学長の就任に伴い運営方針を提示され教職員への周知が図られた。
- ② 創立20周年の節目で記念シンポジウムを開催し、新聞等のメディアを通じた基本理念の周知が積極的に行われた。

（3）1－2の改善・向上方策（将来計画）

- ① アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの学内外へ周知徹底を行う必要がある。特に、普段の教育活動に結びついた基本理念の具現化を知らしめる必要がある。
- ② 本学のホームページの内容の充実を図るとともに、学内に掲示等も行っていく。

【基準1の自己評価】

本学の建学の精神・基本理念及びこれを踏まえた大学の使命・目的は、明確に定められ、学則に明示されるとともに、ガイダンス・入学式等での口頭での説明に加えて各種印刷物、本学のホームページ等で周知されている。

建学の精神・基本理念及び大学の使命・目的の周知方法で従来不足していた印刷物等視覚情報も、学外への広報の機会、特に平成21（2009）年度に行われた創立20周年記念シンポジウムや記念出版などを活用して、本学の理念や特色に対する認知度を高めた。

【基準1の改善・向上方策】

本学のホームページの内容の充実を図るとともに、学内に掲示等も行っていく。
基本理念に基づく教育活動に対する成果をメディアにアピールする努力が必要であるため、本学の教員による現代の志塾講座をマスコミ等に対しても行っていく。